

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月31日 (第206報) 発信時刻 0時50分	
経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長、殿	
通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-25-4111(代) ( )	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分：電気事業) 福島県双葉郡楡葉町大字波合字小浜作12
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 ( <input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)
	想定される原因 <input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 0時00分) 被ばく者の状況 ■無 <input type="checkbox"/> 有：被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 <input type="checkbox"/> 有：
	気象情報 (確認時刻 0時00分) ・天候 : 雨 ~ ・風向 : 方位 北北西 ✓ ・風速 : m/s 4.4 ✓ ・大気安定度 : D ✓ (10m)
	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有： 調査中
応急措置	/

様式 8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.05 (kg/cm <sup>2</sup> (MPa [gage])) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	↘ 28.1 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	↗ 5050 mm (SHC) 燃料頂部から 9246 mm ↗
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	↘ 4.4 (kg/cm <sup>2</sup> (kPa [gage]))
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C ↘ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> ・MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	27.7℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	6050 mm SHC (基準値) 燃料頂部から 10246 mm
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	4.8 (kg/cm <sup>2</sup> ・kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ ↓ R.H.R (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/11日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高: m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/11日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.00 (kg/cm <sup>2</sup> ・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	34.4℃ 給水→蒸気温度 RHR(B) Hx入口
原子炉水位	3000 mm (SHC) 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力	1.80 (kg/cm <sup>2</sup> ・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 0時 00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時43分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射線物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射線物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 0時 00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> ・MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	26.7℃ <del>給水系統の温度 RHR (B) H&amp;LD</del>
原子炉水位	2900 mm (SHG) 燃料頂部から 7096 mm ↓
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCS の作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19: ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	(kg/cm <sup>2</sup> ・kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式S-1(9/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻( 31 日 0 時 00 分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻( 31 日 0 時 00 分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外被被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式B-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻( 30 日 23 時 30 分)				
排気筒モニタ					
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	: 5.4	cps	2号機: 4.4	cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	: 3.5	cps	4号機: 5.4	cps
	Rw/B	: 4.3	cps		

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	23 時 10 分	7.8	4.1	7.2	5.6	4.9	6.2	-
		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	23 時 20 分	7.7	4.1	7.2	5.5	4.9	6.2	-
		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
23 時 30 分	7.7	4.1	7.2	5.5	4.9	6.1	-	
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点							
γ線空間線量率	設備地点名						
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名						
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名						
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名						
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 ( 3   日 0 時 00 分 )
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 5.5 cps、2号機 : 4.4 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 3.7 cps、4号機 : 5.7 cps
	Rw/B : 4.3 cps

固定式モニタリング設備地点								
	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	23 時 40 分	2.7 μSv/h	4.1 μSv/h	7.2 μSv/h	5.6 μSv/h	4.9 μSv/h	6.2 μSv/h	- μSv/h
	23 時 50 分	2.7 μSv/h	4.1 μSv/h	7.2 μSv/h	5.6 μSv/h	5.0 μSv/h	6.1 μSv/h	- μSv/h
	00 時 00 分	7.8 μSv/h	4.1 μSv/h	7.2 μSv/h	5.6 μSv/h	5.0 μSv/h	6.1 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により撤されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。



様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月31日 (第207報)  
発信時刻 6時40分

経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、宮岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-26-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 14日 21時 58分 16日 0時 00分	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (口する, ■しない)	
	想定される原因	■特定 楳葉第一原子力発電所の影響 口調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 6時00分)	被ばく者の状況 ■無 口有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 口有:	
	気象情報 (確認時刻: 6時00分)	天気: 晴れ 風向: 方位 西 閉西 風速: m/s 3.6 大気安定度: D (10m)	
	周辺環境への影響	口無 口有: 調査中	
応急措置		/	

様式 8-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成29年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.05 (kg/cm <sup>2</sup> (MPa [gage])) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	27.7℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 5050 mm (SHC (定常値) 燃料頂部から 9246mm →)
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	→ 4.4 (kg/cm <sup>2</sup> (kPa [gage]))
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	↘ 273.0 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 6050 mm (3HC (異常)) 燃料頂部から 1024.6 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動: 高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動: 低圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	→ 4.8 (kg/cm <sup>2</sup> g kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 26.0 °C ↓ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/31日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/31日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.00 (kg/cm <sup>2</sup> g, MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→ 34.4℃ 給水→温度 RHR(B) Hx入
原子炉水位	→ 3000 mm (SHC) 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	↗ 1.99 (kg/cm <sup>2</sup> g, kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

4号機 様式B-1 (2/4)  
【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高: m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g) (MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレシ)	↑ 26.9℃ (給水→炉内温度 RHR (B) H×入)
原子炉水位	↑ 2950 mm (SHG) 燃料頂部から 7146 mm ↑
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力	→   (kg/cm <sup>2</sup> g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28℃ ↑ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻( 31 日 6時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻( 31 日 6時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(3月 5時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.3 cps, 2号機: 9.3 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 8号機: 4.5 cps, 4号機: 5.2 cps
	Rw/B: 3.8 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7#
γ線空間線量率	5時-10分		7.6 μSv/h	4.0 μSv/h	7.1 μSv/h	5.5 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	5時-20分		7.6 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.5 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	5時-30分		7.6 μSv/h	4.0 μSv/h	7.1 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
三元素濃度	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1月1回12時00分の測定値を記載。



様式B-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻( 31 日 6 時 00 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 5.1 cps 、 2号機 : 4.6 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 3.4 cps 、 4号機 : 5.4 cps
	Rw/B : 4.3 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	5 時 40 分		7.6 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.5 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	-
	5 時 50 分		7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.5 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	-
	6 時 00 分		7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.5 μSv/h	4.8 μSv/h	6.1 μSv/h	-
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。



東京電力(株)

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月31日 (第208報)  
発信時刻 12時40分

経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、富岡町長、殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-26-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第1.0条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波合字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要 発生した特定事象の概	特定事象の種類	放射性境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 ( <input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 12時00分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:
	気象情報 (確認時刻 12時00分)	・天候: 雨 ・風向: 方位 東 ・風速: m/s 4.0 ・大気安定度: A (10m)
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中
応急措置	/	

様式B-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(月/日/時 00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年9月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(月/日/時 00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> g [MPa [gage]]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↓	27.4℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 ↗	5100 mm <sup>516</sup> (燃料) 燃料頂部から 9296 mm ↗
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 ↓	4.2 (kg/cm <sup>2</sup> g [kPa [gage]])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24℃ ↓ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1 (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(月/日/時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り, <input type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(月/日/時00分)
1 次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> ・MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1 次冷却系の温度(ホットレグ) ↓	27.0℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6.50 mm SHC (注: 燃料頂部から 10246 mm →)
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 非隔離
格納容器圧力 ↓	4.6 (kg/cm <sup>2</sup> ・kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 26.0℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/31日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り; <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出; <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出; <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/31日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.00 (kg/cm <sup>2</sup> g) (MPa [gage]) 上昇・下降 <u>安定</u> 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	34.3℃ 給水ノズル温度 PHR(B) HXR D
原子炉水位 →	3000 mm <u>SHR</u> 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	<u>受電有</u> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <u>(無)</u>
余熱除去系の機能維持	<u>正常</u> 異常
BCCSの作動・高圧系	作動 <u>(未作動)</u> 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動 <u>(未作動)</u> 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<u>挿入</u> 未挿入
ボロン添加	添加 <u>(未添加)</u>
主蒸気隔離弁の閉止	<u>(閉)</u> 開
格納容器の隔離状態	<u>隔離</u> 非隔離
格納容器圧力 →	1.85 (kg/cm <sup>2</sup> g) (kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <u>(未作動)</u>
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR: (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/31日 12時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/31日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g) (MPa [gauge]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	26.9℃ <del>サプレッションプール温度</del> RHR(B) H <sub>2</sub> O
原子炉水位 →	2950 mm <del>SFC (燃料床)</del> 燃料頂部から 7146 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 →	2 (kg/cm <sup>2</sup> g) (kPa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ ↓ RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻( 2 / 月 12時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻( 2 / 月 12時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(2) 自 11時 30分
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 4.7 cps, 2号機: 4.5 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.3 cps, 4号機: 5.5 cps
	Rw/B: 3.8 cps

固定式モニタリング設備地点								
	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	11時 10分	7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	11時 20分	7.6 μSv/h	4.0 μSv/h	7.1 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.1 μSv/h	- μSv/h
	11時 30分	7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点							
γ線空間線量率	設備地点名						
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名						
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名						
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名						
	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。



様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(31日 12時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.2 cps, 2号機: 4.1 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.1 cps, 4号機: 5.5 cps
	Rw/B: 4.4 cps

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	11時40分		7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	11時50分		7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	6.9 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	- μSv/h
	12時00分		7.6 μSv/h	4.0 μSv/h	7.0 μSv/h	5.4 μSv/h	4.8 μSv/h	6.0 μSv/h	3.3 μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。



様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月31日 (第269報)  
発信時刻 14時40分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、官岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 東京電力株式会社 福島第二原子力発電所  
(事業区分: 電気事業)  
福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12

特定事象の発生箇所 福島第二原子力発電所 第 一 号炉

特定事象の発生時刻 平成23年 3 月 31 日 14 時 58 分

発生した特定事象の種類 特定事象の種類 現地境界放射線量上昇  
原子力緊急事態に該当 (□する, 〇しない)

想定される原因 〇特定 福島第一原子力発電所の影響  
□調査中

検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 別紙を参照。なし

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況  
□無  
□有: 被ばく者 名 要救助者 名  
汚染拡大の有無  
□無  
□有:

気象情報 (確認時刻 時 分) 天候: \_\_\_\_\_  
風向: \_\_\_\_\_ 方位 \_\_\_\_\_  
風速: \_\_\_\_\_ m/s \_\_\_\_\_  
大気安定度: \_\_\_\_\_

周辺環境への影響 〇無  
□有: 施設管理している

その他特定事象の把握に参考となる情報 応急措置  
本日13時8分頃 街宣車1台が西側車庫外から横断し侵入し、欄干を走行し、13時20分頃、柵から区画を越え、本件については、福島県警に通報した。  
尚、当該柵については、街宣車区画後、当社車両により封鎖した。

8枚

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月31日 (第210報)

発信時刻 / 8時55分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作1-2	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第 一 号炉	
特定事象の発生時刻		平成 23年 3月 31日 21時 59分 15日 0時 00分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 ( <input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 福島第一原子力発電所の影響 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 18時00分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	気象情報 (確認時刻 18時00分)	・天候 : 晴 ・風向 : 方位 南北西 ・風速 : m/s 1.5 ・大気安定度 : F (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
応急措置		/	

様式B-1 (2/4)

1号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高, m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> ・MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	27.3 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 ↗	5150 mm SHC 燃料頂部から 9346 mm ↗
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 →	4.0 (kg/cm <sup>2</sup> ・kPa [gaga])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール氷温度 24 °C → RHR (B) 系による除熱中。

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1. (2/4)

2号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/31日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/31日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g, MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク) →	26.9 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	6100 mm SHC 燃料頂部から 10296 mm ↑
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有, 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常, 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入, 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉, 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離, 非隔離
格納容器圧力 →	4.4 (kg/cm <sup>2</sup> g, kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 26 °C → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

3号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状況

項目	確認時刻(3/31日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input checked="" type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input checked="" type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/31日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.00 (kg/cm <sup>2</sup> g, MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
I次冷却系の温度(ホットレグ) →	34.4℃ <del>給水ノズル温度</del> RHR(B) Hx入
原子炉水位 →	3000 mm <sup>34C</sup> (燃料) 燃料頂部から 7196 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	1.71 (kg/cm <sup>2</sup> g, kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式 8-1 (2/4)

4号機

【原子炉の運転に関するパラメータ】

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(〃/日(時:分))
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出口場所名: (地上高: m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(〃/日(時:分))
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.08 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレク)	27.6℃ 給水→温度 RHR(B)HX入口
原子炉水位	4000 mm SHL 燃料頂部から 3196 mm
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有(無)
非常用ディーゼル発電機運転	受電有(無)
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常(異常)
BCCS の作動: 高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
BCCS の作動: 低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入(未挿入) CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉(開)
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離(非隔離)
格納容器圧力	1 (kg/cm <sup>2</sup> kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 30℃ RHR (B) 系による除熱中 RHR (B) 14:35' 停止 / 15:26' 起動 (SHL + S/C → SHL + S/C + P/C)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(3/ 日 18時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(3/ 日 18時 00分)			
	日時分	日時分	日時分	日時分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。



様式B-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(3/31日 17時 30分)	
排気筒モニタ		
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.2 $\mu$ Cps	2号機: 4.2 $\mu$ Cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.9 $\mu$ Cps	4号機: 5.7 $\mu$ Cps
	Rw/B: 4.1 $\mu$ Cps	

固定式モニタリング設備地点								
	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
$\gamma$ 線空間線量率	17時 10分	7.5 $\mu$ Sv/h	4.0 $\mu$ Sv/h	6.9 $\mu$ Sv/h	5.0 $\mu$ Sv/h	4.7 $\mu$ Sv/h	6.0 $\mu$ Sv/h	-
	17時 20分	7.5 $\mu$ Sv/h	4.0 $\mu$ Sv/h	6.9 $\mu$ Sv/h	5.0 $\mu$ Sv/h	4.7 $\mu$ Sv/h	6.0 $\mu$ Sv/h	-
	17時 30分	7.5 $\mu$ Sv/h	3.9 $\mu$ Sv/h	6.9 $\mu$ Sv/h	5.0 $\mu$ Sv/h	4.7 $\mu$ Sv/h	5.9 $\mu$ Sv/h	-
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h

可動地点								
$\gamma$ 線空間線量率	設備地点名							
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名							
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
	時 分	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h	$\mu$ Sv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名							
	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、 $\gamma$ 線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。



様式B-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(31日 18時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 5.4 rCDS, 2号機: 4.4 rCDS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 4.0 rCDS, 4号機: 5.2 rCDS
	Rw/B: 4.6 rCDS

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	17時 40分		7.5 μSv/h	3.9 μSv/h	6.9 μSv/h	5.0 μSv/h	4.7 μSv/h	5.9 μSv/h	-
	17時 50分		7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	6.9 μSv/h	5.0 μSv/h	4.7 μSv/h	6.0 μSv/h	-
	18時 00分		7.5 μSv/h	4.0 μSv/h	6.9 μSv/h	5.0 μSv/h	4.7 μSv/h	6.0 μSv/h	-
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回12時00分の測定値を記載。